

「わかやまリトルベビーハンドブック」を作成しました！

小さく生まれたこども（出生体重1,500g未満）のご家庭から、一般的な母子健康手帳では、多くの部分で十分な記載ができず、不安も高まるという声が聞かれることから、市町村の保健師、新生児科医師、NICU看護師・助産師、先輩ママや支援者などの話をお伺いしながら、この度、「わかやまリトルベビーハンドブック」を作成しました。

【配布対象者】

県内にお住まいの方で、

- ① 出生体重が1,500g未満の場合
- ② ①以外で出生体重が2,500g未満などで支援が必要な場合

【配布先】

●県内のNICU設置医療機関

- ・日本赤十字社和歌山医療センター
- ・和歌山県立医科大学附属病院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・紀南病院

●市町村母子保健担当課 など

※和歌山県健康推進課ホームページでも、当該ハンドブックをご覧いただけます。

<URL><https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/041200/wakayamalittle.html>



～「出産後のママの気持ち」からのメッセージ～（リトルベビーハンドブックより 一部抜粋）

出産後に苦しい気持ちになることがあります。あなただけではありません。また、無理して気持ちを抑える必要もありません。

ご家族や病院スタッフ、地域の保健師などに気持ちを聞いてもらったり、産後のママの健診で主治医や助産師に相談するなど一人で抱え込まないようにしましょう。

<参考>

和歌山県の出生数 5,238人

うち、1,500g未満の極低出生体重児 36人（「令和4年人口動態統計」より）

担当者	健康推進課 佐伯、中尾
連絡先	073-441-2642